

令和8年度国内における米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン26） における大矢野原演習場の使用について

1. 訓練の目的

陸上自衛隊及び米海兵隊等の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の相互連携要領を実行動により演練し、日米の連携強化及び共同対処能力の向上を図るもの。

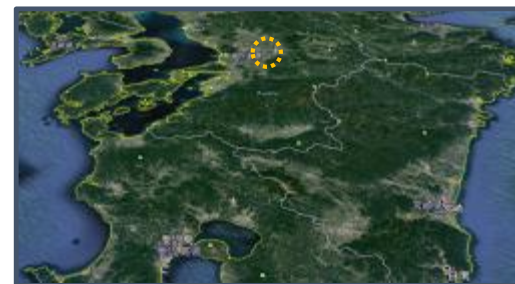
2. 訓練概要等

【訓練実施期間】

令和8年6月20日（土）～30日（火） ※本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を行います。

【訓練実施場所】

- ・大分県：陸上自衛隊日出生台演習場、陸上自衛隊十文字原演習場、大分港
- ・佐賀県：陸上自衛隊目達原駐屯地
- ・熊本県：陸上自衛隊健軍駐屯地、陸上自衛隊高遊原分屯地、
陸上自衛隊大矢野原演習場
- ・鹿児島県：志布志港、谷山港、陸上自衛隊奄美駐屯地、
陸上自衛隊瀬戸内分屯地、名瀬港、徳之島
- ・沖縄県：県内の一部の自衛隊施設、在日米軍施設、宮古空港、
石垣空港、石垣港、与那国空港



大矢野原演習場

3. 大矢野原演習場における訓練の概要

○大矢野原演習場においては、

⇒ 対着上陸戦闘訓練、機外懸吊、共同補給訓練や共同衛生訓練（患者後送等）等を実施するほか、陸上自衛隊航空機及び米海兵隊航空機の航空基盤として、駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

○期間は、令和8年6月20日（土）～30日（火）を計画しています。※本期間の前後に、それぞれ約1週間程度で展開・撤収を実施予定

○参加部隊は以下のとおりです。

自衛隊：陸上自衛隊 約600名

（第8師団、宮古警備隊、西部方面航空隊、西部方面後方支援隊、西部方面衛生隊、陸上総隊、航空学校等、AH-64×4機程度、OH-1×2機程度、CH-47×4機程度、UH-60×5機程度、V-22×2機程度等）

米 軍：米海兵隊、米海軍 約40名

（第1海兵航空団等、AH-1×2機程度、UH-1×2機程度、CH-53×4機程度、MH-60×1機程度、MV-22×4機程度等）

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のものである。

訓練イメージ



対着上陸戦闘訓練



共同衛生訓練（患者後送等）



CH-47による機外懸吊



駐機・燃料補給・整備等

4. 訓練日程（大矢野原演習場における予定）

月	6												
日	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
訓練予定	展開、装備品輸送、訓練準備							訓練開始	実動訓練（対着上陸訓練）				
	航空機の飛行								航空機の飛行（共同補給訓練含む。）				
									日米共同衛生訓練				
									機外懸吊訓練				

月	6						7							
日	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	
曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
訓練予定	実動訓練（対着上陸訓練）						訓練終了	撤収準備、装備品輸送、撤収（移動）※						
	航空機の飛行（共同補給訓練含む。）							航空機の飛行						
	機外懸吊訓練													

※ 移動の期間は7日間程度を見込んでいますが、準備が整えば、速やかに移動を開始する予定です。

<Q&A>

Q1 大矢野原演習場への展開・撤収の時期や方法は？

訓練準備のため、6月15日（月）頃から19日（金）までの間に、陸上自衛隊及び米海兵隊の人員及び装備品が、大矢野原演習場に順次展開する予定です。

陸上自衛隊は陸自車両で展開し、米海兵隊は米側が契約した業者の車両（バス、トレーラー等）で展開します。また、物資・人員の輸送のため、航空機が飛行する可能性があります。

6月30日（火）の訓練終了後、日米それぞれの隊員及び装備品は、7月7日（火）までの間に、演習場展開時と同様の移動手段で撤収する予定です。

なお、演習場への車両での展開・撤収の際は、交通ルールを順守するなど安全に配慮するよう、日米の訓練参加部隊（米契約業者含む）に周知徹底します。

Q2 実弾射撃等は実施するのか？

今回の訓練での実弾射撃訓練は実施する予定はありませんが、対着上陸戦闘訓練で空包及び火工品等は使用する予定です。

Q3 夜間及び休日に訓練は実施するのか？

訓練は夜間及び休日にも実施する予定ですが、訓練の実施に際しては、演習場の使用規則等を遵守し、皆様の生活に支障がないよう可能な限り配慮いたします。

Q4 航空機の飛行ルートは？

航空機による演習場への進入及び退出ルートについては、周辺住民の皆様に十分配慮したルートを使用するよう日米間で確認し、基本的に北側及び北東側から進入し、北側及び北西側から退出するようにしています。 特に米航空機の飛行ルートについては、十分に注意するよう調整しています。

Q5 飛来する航空機の駐機期間及び場所は？

本訓練期間中、演習場内に複数の航空機駐機場所を設定しております。

現時点で演習場内の駐機予定位置は、放原地区、縮尺射場～電信森～松の木台～天神森～シメン平にかけの帯等、期間は6月15日から29日を予定しておりますが、気象及び訓練内容等により、変更が生じる場合があります。この場合、日米の訓練参加部隊と調整し変更後の駐機位置に関する情報提供をお願いしています。

Q6 訓練期間中の演習場外への外出は？

本訓練に参加する米軍人は、演習場内宿泊を基本としますが、訓練の支援等を行う一部の軍属等は部外のホテルに宿泊する予定です。

演習場内に宿泊する米軍人は、食事、入浴を含めて活動は演習場内で行う予定ですが、必要に応じ、生活に必要な物資を購入等するためにレンタカー等で外出する可能性はあります。

また、外出に対しては、米軍に対し、綱紀粛正の徹底をお願いしています。

訓練における安全性の確保には万全を期してまいります。
皆様の、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

大矢野原演習場において使用する主な装備品（自衛隊）（1 / 2）

【資料1】

装備品	写真	装備品	写真	装備品	写真
89式小銃		84mm無反動砲		蒼天	
20式小銃		40mmてき弾		アナフィ	
5.56mm機関銃 MINIMI		81mm迫撃砲		スカイレンジャー	
対人狙撃銃		中距離 多目的誘導弾			
12.7mm 重機関銃		01式軽対戦車 誘導弾			

※実弾を使用する計画はありません。

大矢野原演習場において使用する主な装備品（自衛隊）（2 / 2）

【資料1】

装備品	写真	装備品	写真	装備品	写真
AH-64		V-22			
AH-1					
UH-60					
CH-47					
OH-1					

大矢野原演習場において使用する主な装備品（米軍）

【資料2】

装備品	写真	装備品	写真	装備品	写真
AH-1Z					
UH-1Y					
CH-53					
MV-22					
MH-60					